

■中島歌子 歌人・教育者。歌塾{萩の舎}を開き、樋口一葉はじめ女流俊秀輩出。

なかじまうたこ

天保改革終・1844＝ 武蔵国入間郡森戸村(埼玉県坂戸市)で、中島又左衛門・いくの長女に生まれる。幼名とせ。

阿部正弘首座1845＝ 1歳：父は農民ながら村名主であり豪商，母の実家も幕府御用達の豪商であったが，
両親が江戸の水戸藩御用達宿池田屋を引き受けることになり，牛込揚場町に移り住む

父が水戸の藤田東湖らと交際があったことから，

ペリー来航・1853＝ 9歳：水戸徳川家の分家，常陸府中藩主松平家の水戸屋敷奥詰に出仕。

桜田門外変・1860＝16歳：

遣欧使節・・1861＝17歳：水戸藩士林忠右衛門と結婚。

生麦事件・・1862＝18歳：

夫忠右衛門は勤王派で天狗党に属し，

禁門の変・・1864＝20歳：武田耕雲斎・藤田小四郎らと決起して(天狗党の乱)，捕えられ，

薩摩藩士密航1865＝21歳：夫が獄死したため，加藤千浪に師事して，和歌や書道を学ぶ。

明治維新・・1868＝24歳：{手跡指南}の看板を掲げ，書道を教え始め，

廃藩置県・・1871＝27歳：

歌道が衰退した明治初期，その挽回をはかるべく，

明治6年政変1873＝29歳：

佐賀の乱・・1874＝30歳：森戸村名主となっていた兄孝三郎から金銭的な援助を受けて，

西南戦争・・1877＝33歳：*東京小石川安藤坂に家塾{萩の舎}を開き，歌子と改名。和歌・古典・書道を教授。三宅花圃が入門，

・・・・・1880＝36歳：

明治14年政変1881＝37歳：

伊東祐命，高崎正風らの援助のもと，

帝国大学始・1886＝42歳：*樋口一葉が入門した頃には，のちに梨本宮妃になる鍋島直大の娘伊都子をはじめ上流婦人を指導，教える
受けるものが1000人に及び，

帝国憲法発布1889＝45歳：

宮内省御歌所にも出講予定であったが，病弱を理由に辞退，

日清戦争始・1894＝50歳：

子規句歌革新1898＝54歳：

田中正造直訴1901＝57歳：*この年設立された日本女子大学校に招かれ教授に就任し，和歌を講じたが，

日比谷公園・1903＝59歳：肺炎で 没した。

没後，歌集「萩のしづく」が刊行され，水戸への旅を綴った歌日記「秋の道しば」がある。

「この人どんな人」，「日本の女性」，インターネット，